

事例6：株式会社テー・シー・富山（保護すべき価値（ノウハウ等の知的財産）の特定・見える化を実践）

知的財産・ノウハウ管理

契約

体制強化・人材育成

■ 知的財産経営実践の概要

解決
したい
課題

樹脂成形に関する製造データ・ノウハウ等の営業秘密やノウハウ等の守るべき知的財産の適切な管理について社内意識や行動を共通化させ、組織力を強化したい

- 知的財産の蓄積や保護管理、継承の体制やしくみの確立

専門家によるハンズオン支援

ハンズ
オン
支援

自社の知的財産の棚卸・見える化を通じた管理機能の強化につなげる行動内容を議論

訪問支援：3回

- 金型データ、製造のノウハウ、製造データ等の知的財産見える化及び管理の手法設計に対する助言
- 取引先との関係強化に資する契約面の改善点を助言
- ノウハウ等の蓄積や営業秘密管理を実施するための社内人材の育成に関する方針や施策検討に対する助言

結果
・
成果

保護対象財産の特定、見える化の試行開始
財産管理や社内意識変容に資する活動に着手

今後の取組課題

- ✓ 知的財産の見える化ほかの取り組みを継続させ、意識や行動の定着を図っていく
- ✓ 契約面の基盤・ツールの適切な運用を図り協働先との関係強化を図っていく

■ 取組の詳細

- 取引先（発注元）や協働先（金型製作業者など）との情報共有の現状を踏まえつつ、社内でのノウハウや技術情報等の蓄積状況やその整理方法について議論。
- ノウハウ等の蓄積・見える化・管理手法について具体的な方策を施行。
- 営業秘密管理の組織的な対応を進めるにあたり、担当部署を明確にし、具体的な行動内容を整理。
- 円滑な事業実施のため、取引先や協働先との設計データ等の取り扱いなどの方針を検討した。
- ノウハウ等の蓄積や営業秘密管理を実施するにあたり無理なく運用できるルールを検討し、今後の定着に向け従業員の意識変革を実現させるため具体的な取り組み（社内勉強会等）を整理。



■ 企業の声

- 専門家の助言を受けつつ、自社に不足していること、改善すべきこと、継続すべきことを整理することができました。契約に関する理解も深まり、事業上のリスクに対する対応についても気づきを得ることができました。早速実践していきたいと考えます。
- 今回の取り組みを通じ、社内での機密保持や価値ある情報等の蓄積・管理に対する意識の変化の兆しを感じています。今後も議論できた施策を継続させ、定着を図り、その先の自社の競争力の強化につなげたいと考えます。

■ 企業概要

業種	製造業（高精度インサート樹脂成形による自動車用バルブ部品等の製造）				
住所	富山県立山町	URL	https://tctoyama.com/index.html		
創業	1994年7月	従業員数	46人	資本金	600万円

■ 支援専門家（回数）

支援コーディネータ
弁理士・弁護士（3）
同行専門家
弁理士（2）